

函館市観光基本計画に係る基本方針３・４の目標値について

基本方針３－１ 函館観光に関する取組みに「参加する」市民の増加

観光ボランティアや、情報発信、困っている観光客への声掛けなど、函館観光に関する様々な取組みに対して「参加している」と回答する市民の割合を増加させます。

① 観光に関わる市民の増加

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
16.4%	函館観光市民意識アンケートにおいて「日ごろから観光客と接する機会がありますか」の設問に対し、「観光客と直接関わる仕事をしている」「観光客と間接的に関わる仕事をしている」「ボランティア活動で関わっている」と回答した割合の合計	増加	2024年度の数値から向上

② 情報発信への参加率

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
21.7%	函館観光市民アンケートにおいて「函館の観光地や函館で開催されたイベントをSNSや口コミ等で情報発信したことがありますか」の設問に対し、「日常的に発信している」または「１～２回発信したことがある」と回答した割合	33.0%	同設問に対し、「発信してみたい」と回答した22.5%の半数が「日常的に発信している」または「１～２回発信したことがある」に転換

基本方針 3－2 家族や友人、知人に函館観光を「ぜひ勧めたい」と考える観光客の増加

身近な人から、「函館に行って良かった」「あなたもぜひ函館に行ってみてほしい」という話を聞くことは、これから函館観光を検討している潜在的な観光客を強く後押しする要素となります。旅行後にこうした情報を発信してくれる観光客も「函館観光を盛り上げる人」の一員と考え、目標値として設定します

① 推奨度（国内観光客）

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
81.4%	観光動向調査アンケートにおいて「函館市の観光を友人に薦めたいと思いますか。まったく薦めたくない場合は0点、五分五分で判断に迷う場合は5点、ぜひ薦めたい場合を10点で表すとした場合、何点ですか。」の設問に対し、「10点」「9点」「8点」と回答した割合	増加	基準値から向上

② 推奨度（海外観光客）

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
80.5%	観光動向調査アンケートにおいて「函館市の観光を友人に薦めたいと思いますか。まったく薦めたくない場合は0点、五分五分で判断に迷う場合は5点、ぜひ薦めたい場合を10点で表すとした場合、何点ですか。」の設問に対し、「10点」「9点」「8点」と回答した割合	増加	基準値から向上

基本方針 4 観光への理解度の向上

函館経済における観光の重要性を広く市民に知っていただくことは極めて重要です。観光の重要性に対する市民理解の向上を目指し、目標値として設定します。

① 理解度

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
90.1%	函館観光市民意識アンケートにおいて「函館を訪れる人が増えることで、まちが活性化する」の設問に対し、「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した割合	増加	基準値から向上

② 推奨度

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
61.9%	函館観光市民意識アンケートにおいて「あなたは函館観光を市外の友人・知人に薦めたいと思いますか」の設問に対し、「10点」「9点」「8点」と回答した割合	増加	基準値から向上

【基本方針 3・4 の目標値設定に係る経過】

令和 5 年（2023 年）8 月 30 日に開催された第 4 回計画策定委員会において、基本方針 3・4 の目標値については、計画初年度において基礎となる数値を調査し、具体的な目標値については初年度の調査結果を踏まえ検討することとされた。

[（第 4 回計画策定委員会資料 5 P 16）](#)

令和 6 年 7 月から令和 7 年 6 月に実施した観光動向調査において、基本方針 3－2 に関する設問を設け、観光客からの函館観光の推奨度を調査。

[（令和 6 年 7 月～令和 7 年 6 月 観光動向調査報告書 P 5, P 9）](#)

令和 6 年 11 月から 12 月に市公式ライン登録者への函館観光に係る市民意識アンケートを実施し、市民の観光への参加度・理解度に係る基準値を調査。

[（令和 6 年度「函館観光」市民意識アンケート集計結果 P 4, P 6, P 13）](#)

令和7年（2025年）3月25日に開催した令和6年度第2回観光アドバイザー会議において、市民意識アンケートの調査結果を報告、若年層の回答数が少ないと指摘があり、大学生へ追加調査することとした。

（令和6年度第2回観光アドバイザー会議議事録）

令和7年6月から7月にかけて、函教大・未来大の大学生に対して、市民意識アンケートを追加実施。

（函館観光市民意識アンケート集計結果（大学生追加））

令和7年9月25日に開催した令和7年度第1回観光アドバイザー会議において、大学生のアンケート回答を追加した調査結果を示した上で、未設定の目標値に関する指標と基準値、目標値について意見を伺い、事務局提案のとおり設定することです承された。

（令和7年度第1回観光アドバイザー会議議事録）

【各達成指標の測定方法・時期について】

（1）平均宿泊数の増加

- ・例年5月末に公表している来函観光入込推計により測定

（2）平準化指数の改善

- ・同上

（3-1）①観光に関わる市民の増加

- ・計画最終年次（令和10年）に函館観光市民意識アンケートを実施し、測定
②情報発信への参加率
- ・同上

（3-2）①国内観光客からの推奨度

- ・観光動向調査により測定
②外国人観光客からの推奨度
- ・同上

（4）市民理解度・市民からの推奨度

- ・計画最終年次（令和10年）に函館観光市民意識アンケートを実施し、測定